

2023年6月30日(第1.1版)

呼吸器内科に、通院又は入院中もしくは過去に通院又は入院された患者さん
またはご家族の方へ

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正)」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] ビノレルビン起因性の末梢静脈炎に対する^{おんあんぼう}温罨法の予防効果の検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 渥美 達也

[研究責任者名・所属]

菅原 満(北海道大学大学院薬学研究院教授/北海道大学病院薬剤部長)

[研究の目的]

シスプラチン+ビノレルビン療法により出現する静脈炎に対する温罨法*の予防効果を明らかにするため。

*^{おんあんぼう}温罨法：血管を拡張させる目的に腕をタオル等で温めることです。

[研究の方法]

対象となる患者さん

非小細胞肺がんの患者さんで、2014年3月1日から2025年3月31日までの間に当院でシスプラチン+ビノレルビンの治療を受けた方

利用するカルテ情報

年齢、性別、病歴、診断名、治療歴、全身状態(Performance Status)、血液生化学的検査(総ビリルビン、AST、ALT、クレアチニン、Na、K、Cl、Mg、Ca、尿酸値、CBC、CRP、BUN、LDL コレステロール、HDL コレステロール、トリグリセリド、ヘモグロビンA1c、グルコース)、血圧、脈拍、呼吸数、体温、処方内容(併用薬情報)、処置内容、該当疾患の治療歴、静脈炎の発現率とその重症度、シスプラチン(CDDP)とビノレルビン(VNR)による有害事象、合併症(高血圧、糖尿病、高尿酸血症、高脂血症、強皮症、混合性結合組織病(MCTD)、皮膚筋炎、シェーグレン症候群の既往)、点滴投与ルート

[研究実施期間]

実施許可日(情報の利用開始:2023年7月頃)~2025年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院薬剤部 担当 谷口 理

電話 011-706-5683 FAX 011-706-7616